

⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-71055

⑬ Int. Cl.⁵

B 60 R 22/44

識別記号

B

庁内整理番号

7626-3D

⑭ 公開 平成2年(1990)5月30日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 考案の名称 シートベルトのリトラクタ

⑯ 実 願 昭63-151483

⑰ 出 願 昭63(1988)11月21日

⑱ 考 案 者 稲 川 泰 博 大阪府大阪市生野区中川西1丁目22番6号

⑲ 出 願 人 芦 森 工 業 株 式 有 限 公 司 大阪府大阪市西区北堀江3丁目10番18号

⑳ 代 理 人 弁 理 士 福 井 陽 一

㉑ 実用新案登録請求の範囲

ウェビングの巻取ドラムを支持するスピンドルに接続され、常時ウェビングの弛みを除く得る程度のばね力をスピンドルに作用せしめるばね手段と、前記ウェビングを乗員に装着するためのタングのバックルからの解離を検知する検知手段と、この検知手段からのバックル解離信号により駆動され前記スピンドルを遠心クラッチを介してウェビング巻取方向に回転させるモータと、前記モータへの通電の開始を一定時間遅らせる遅延手段と、前記ウェビングに作用する張力を検出する張力検出手段と、前記ウェビングの巻取量を検出する巻取量検出手段と、前記張力検力検出手段が検出した前記ウェビングの張力が所定値以上になった時及び前記巻取量検出手段がウェビングの全量巻取を検出した時に前記モータへの通電を停止せしめるスイッチ手段とを有してなることを特徴

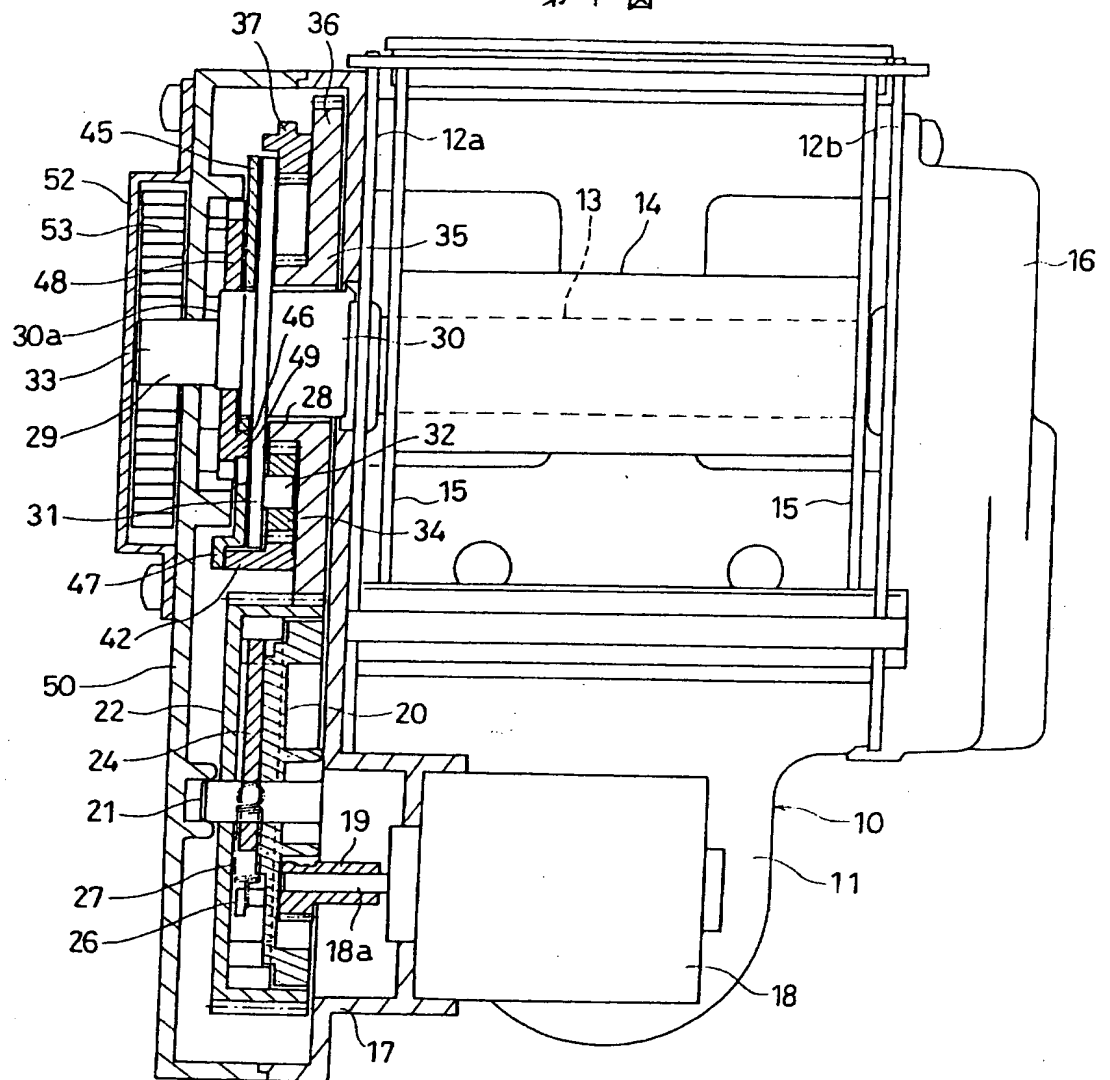
とするシートベルトのリトラクタ。

図面の簡単な説明

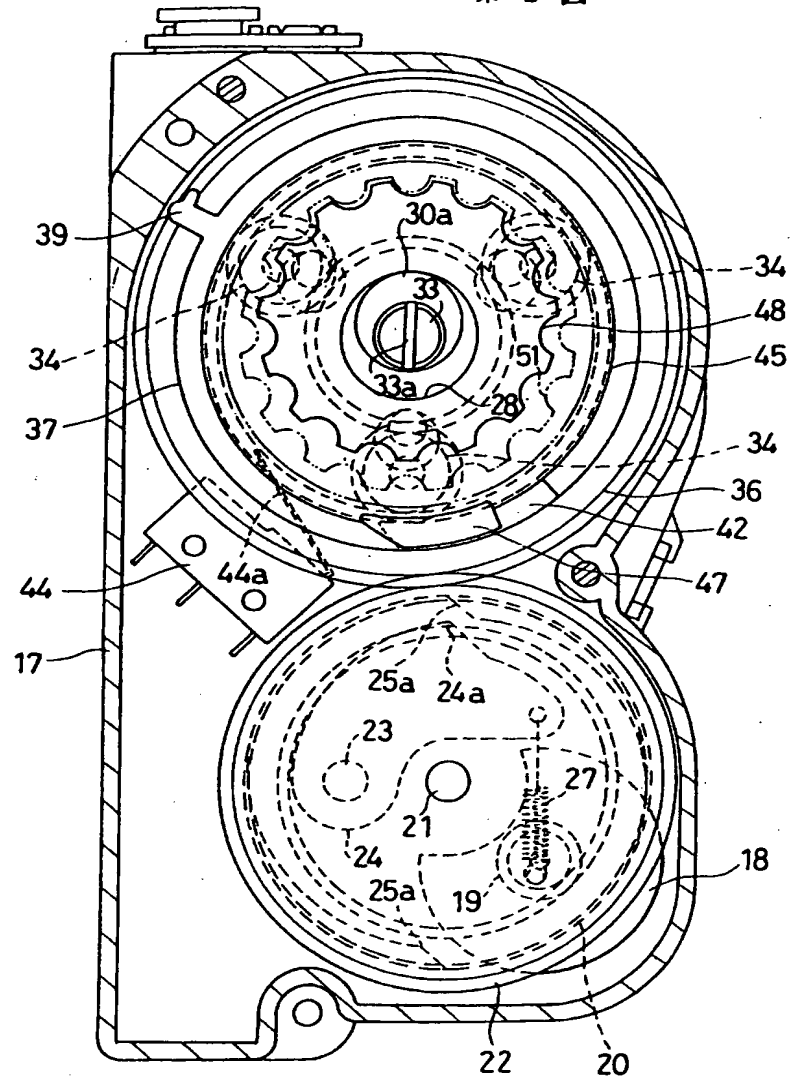
第1図は本考案に係るシートベルトのリトラクタの縦断面図、第2図は側断面図、第3図は要部分解斜視図、第4図はモータの制御回路図である。

10……リトラクタ本体、13……スピンドル、14……巻取ドラム、18……モータ、20……第一クラッチギヤ、22……第二クラッチギヤ、24……パウル、29……ドライブシャフト、34……遊星ギヤ、35……サンギヤ、37……センサギヤ、41……コイルばね、42……突出部、44……第一マイクロスイッチ、45……カムプレート、47……突片、48……回転検出ギヤ、51……内歯、53……ぜんまいばね、54……第二マイクロスイッチ、55……コンデンサ。

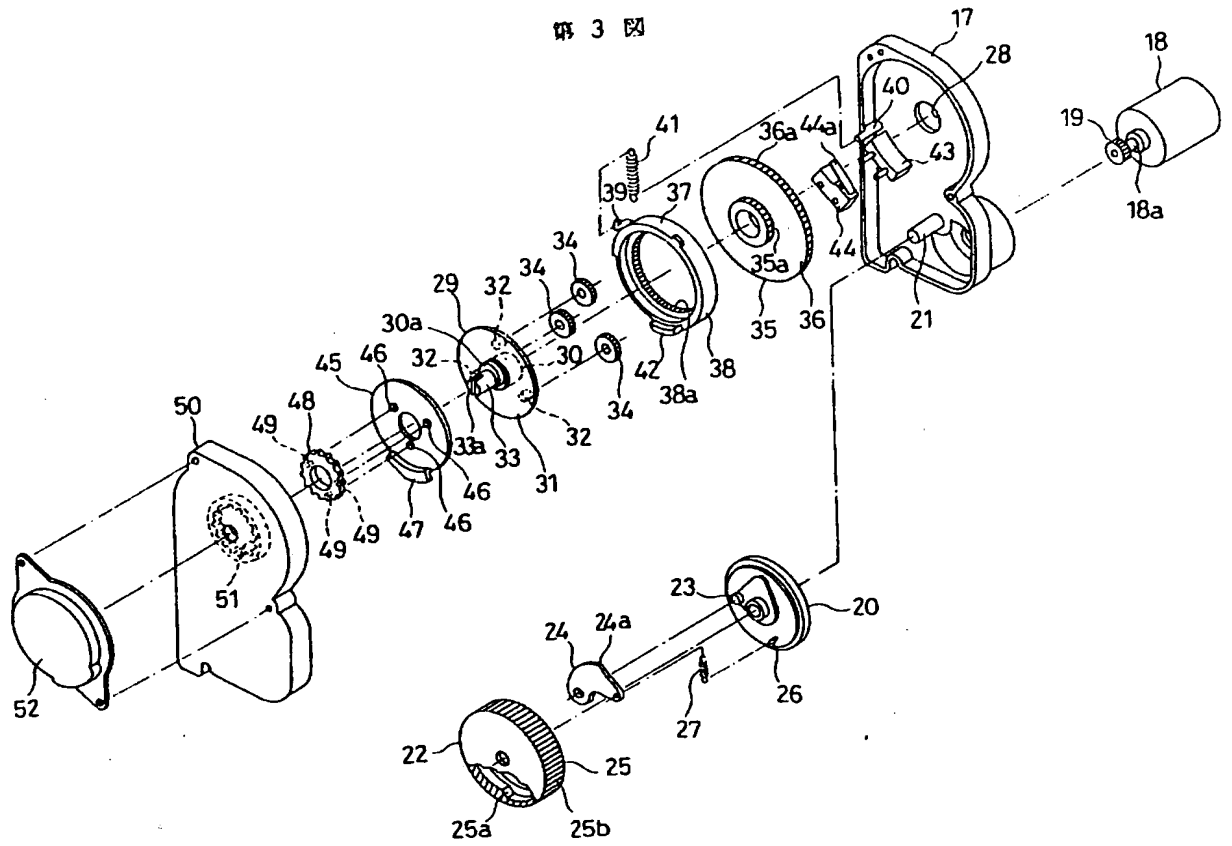
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 図

